

らぱすたいむず



毎年ラ・パスのお正月を彩る
玄関飾り。

今年のテーマは、夫婦壺（め
おとつぼ）。大小2つのつぼを夫
婦に見立て、仲睦まじく寄り添
う様子をイメージしました。華
道の師範の資格を持つ職員の大
作です。

また、長い廊下を飾る巨大壁
飾りは、入所者様と一緒に羊毛
フェルトを立体的に重ね、干支
のうさを制作しました（写真
左）。触るとふわふわしています。
どちらも職員のセンスが輝く作
品です。



当施設のホームページをスマートフォンやタブレット端末からご覧いただけます。

ラ・パスは今年 30 周年！ 私たちが、入所者様の生活を支えます。

今秋、設立 30 周年を迎えるラ・パスでは、現在 130 名の職員が勤務しています。
入所者様の医療ケア、リハビリテーション、栄養管理、食事、入浴などの日常サービスを
多職種で連携し提供しています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



入所部

医師 1 名・看護スタッフ 14 名
介護スタッフ 37 名・環境スタッフ 5 名
の大所帯です。



厨房部



リハビリ部



法人本部



相談部・事務所



住み慣れた地域で
安心して生活できる支援も行っています。



デイケア



様々な部署、専門職・幅広い年齢層・外国人。たくさんの個性豊かな職員が働く、多様性を実感できる明るい職場です。

ケアマネージャー



秋月・甘木地域包括
支援センター



訪問ヘルパー



季節のイベント

入所者様に楽しんでいただけるよう、職員がアイデアを出し合い、季節のイベントを開催しています。開催後はホームページ内のブログで随時公開しています。ぜひご覧ください。

▼ ブログ



今後の予定

- 3月 ひな祭り
- 4月 花見ドライブ
- 5月 子供の日

◀ 2月の節分の様子

職員紹介



勤続10年目の
20代女性介護職員

に、包丁の握り方や料理の作り方を教えていただき、料理の楽しさを知りました。

Q ラ・パスはどんな職場ですか？

A 明るくて優しい職員がたくさんいます。いろんなことを話しやすい職場です。感染対応で大変な時でも他部署からの支援もあって助かっています。ラパスの敷地内にキッチンカーを呼んで、うどんやホットドックがふるまわれるお楽しみデーがあったりします。

Q 介護の仕事を選んだきっかけを教えてください。

A 子どものころから祖母が大好きでした。高齢者の方と話すのが好きだったので、介護の仕事に興味を持ちました。

Q 介護の仕事のやりがいをおしえてください。

A 入所者様に名前を覚えてもらったことや、リハビリや生活の支援をしていくうちに、身体の機能が向上して、ご自宅での生活ができるようになったときにやりがいを感じます。

Q 休みの日は何をしていますか？

A パン屋さんめぐりや映画鑑賞をしています。

Q 趣味は何ですか？

A 料理をすること、食べることです。

Q 最後に一言

A 入所者様の笑顔が仕事の励みになっています。毎日楽しく頑張ります!!

Q 入所者様と一緒に料理をするレクリエーションの時間

A 入所者様と関わる中で、心に残るエピソードを教えてください。

よかところ紹介



～甘木公園～

ラ・パスの裏手にある甘木公園（通称丸山公園）は、朝倉市民の憩いの場となっています。

桜の名所としても有名で、春には約4000本のソメイヨシノが咲き誇り、夜にはライトアップも行われます。また、毎時0分になると、池の中の噴水が高々と上がります。遊具や芝生広場で体を動かすのもいいですね。暖かくなったら散策に出かけてみませんか？



職場説明会のご案内

「介護の仕事ってどんなことをするのか？」「自分にも出来るのかな？」

介護の仕事に興味のある方に向けた、施設での説明会や現場体験型インターンシップを開催します。ご興味のある方は、お気軽にお問合せください。



問合わせ先
介護老人保健施設ラ・パス
TEL0946-23-1322
担当：三田



採用情報はこちら

認知症ってなあに？

認知症サポーター養成講座を開催しました

秋月・甘木地域包括支援センターの職員が、秋月小学校3年生を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症の症状はどんなものか、身近な人が認知症になったらどうしたらいいのか、どんなことをしたら喜んでくれるのかなど、メモをとりながら熱心に聞いていました。受講後には、「困っている人がいたら助けてあげたい」といった前向きな感想が多く寄せられました。

地域の力強いサポーターになってくれた子供たちには、認知症の理解者である証「キッズサポーターカード」を差し上げました。



ダイバーシティ in ラ・パス

世界のあれこれ



フィリピンでは、1月1日深夜0時を回るとき、家族が自宅と一緒に過ごすのが一般的です。新しい年を迎える瞬間に自宅にいないと、その年の先行きが危ぶまれるとされているそうです。家族が最も大切な存在なのですね。また、家族愛が深い家庭が多いフィリピンでは、高齢者を大切にす文化も根付いています。

※ダイバーシティとは、多様性を意味する言葉です。組織や社会において、国籍・年齢・性別・文化・価値観・ライフスタイルなどの違いを持った人たちが共存している状態を意味します。ラ・パスでは、フィリピンとミャンマーから「人財」を受け入れています。

編集後記

この冬は、平年よりも冬の寒い日が続いています。生まれて初めて雪を見た外国人職員たちは、嬉しい反面、寒さが骨身にこたえているようでした。冷え込んだ朝。どこからか、にぎやかな鳥のさえずりが聞こえてきました。見上げると、道路沿いの大きな看板の上部にたくさんの小鳥たちが集まっています。まるで小鳥の学校の朝の会のような感じです。ラ・パス境界が遊び場なのですね。裏山からは、そろそろウグイスが春の訪れを告げてくれそうです。入所者様も楽しみにしていちゃいます。



私たち社会福祉法人寿泉グループは5つの施設で構成されています。

介護老人保健施設 ラ・パス/介護老人福祉施設 甘木愛光園/住宅型有料老人ホーム 筑前梨ノ木城/グループホーム 愛らんど/軽費老人ホーム ケアハウス雅